磐城日日
発行所
社團法人磐城日日新聞社
福島縣小名浜町通廻51
電話代表3873番
編集兼発行人 一瀬壽

印刷
印用紙・機械印刷
各種事務用
チラシ
株式會社磐城印刷所
TEL219・387

昭和28年（1953年）6月19日（金曜日）
第3861號

磐城
昭和25年7月18日 運輸省特別扱産業經第684號
昭和25年10月6日 郵政省第三種郵便物認可
（毎月曜日）

總工費十億投じ 大水路案遂に實現

常磐産業開發に拍車

……（十七日福島にて長瀬記者發）縣綜合開發審議会磐城……
……水利開發專門委員会は審議会連絡委員長他各委員、縣……
……から高野土木部長ら約二十名出席して十七日午後二時……
……から開かれ、縣側から現在迄の調査、計畫の經過が報……
……告され、第一案、第二案、第三案を檢討、結局第二案……
……によって開發は行う基本方針を決定、八月縣會に上提……
……總工費十億円五カ年繼續事業で遂行することになった……

〝只見と小名濱〟とは本縣開發の双壁として縣民の合言葉に迄謳歌されて來たが、無盡藏と稱せられる海底炭を含む豊富なる鑛産資源は本邦唯一の好條件下にあり、又東北の關門として本縣唯一の海港小名浜港をバックホーンに常磐地方の工業開發は唯單に本縣のみならず國家的見地からも大きくクローズ・アップされて來たが自然的立地條件に惠ぐまれているにもかゝわらず水利の便に欠け水利問題は磐城開發の癌とまでなって來たが、この隘路を一挙に解決せんと縣では本年二月以來入遠野川、鮫川の利用開發に着眼し磐城水利開發期成同盟會と共に林縣專門委員らの手で実地調査を進めて次の三案を得るに至ったものである
即ち第一案は入遠野川を有実から取水、高所を湯本迄導水する
第二案は入遠野川の合流点直下から取水して藤原川上流を横斷、湯本北通を水位を落さず導水して鹿島から小名浜に落す
第三案は鮫川本流から取水する
で第一案は水量不足、第三案は水位落差僅少で導水が困難となり結局第二案が本決りとなったのである

結局本案に協力か 注目される小名の出方

小名浜町議會はこの水路案に對し先般來現在導水使用している鮫川用水路線の補強擴張案を主張して來たが、縣案が專門委員会に於て本決りとなった以上湯本町など他町村と歩調を同じくしてこれが實現に努力するのではないかと見られる
しかしまた同時にこの新水路開發と並行して現水路の補強擴充案をも施工より一層の水利便を豊富にし工場誘致への完璧を期そうとする事も考えられ、磐城水利開發期成同盟、縣當局に於ても小名浜の出方を注目しているしかし常磐地方に百廿六箇の水を導水する事に成功すれば磐城開發の最大の癌は除去される事になり産業道路の開發、平小鉄道、小名浜商港の整備と山積される問題はありながら前途に非常な光明となって来た

厚生委員会

衛生施設等審議（湯本）

湯本町の厚生委員会は十八日午後二時から役場会議室に開き次の事項を審議した
一、塵芥處理に關する件
二、糞尿處理に關する件
三、火葬場設置の件
四、無灯火地區電灯布設の件
五、公衆モデル地区選定の件
六診療所設備その他の件

湯本町消防委員会

湯本町消防委員会は十八日午後一時から役場会議室に開き、成出山下貯水池修理の件、消防團員給與條例改正の件、立上り消火栓設置の件、消防ポンプ修理の件、その他の案件を協議した

湯本三小建築委員会

設計承認へ

湯本町では既報の如く人口の激増に伴い同町水野谷字龍ガ澤地内の水田及び山林約七千坪の地ならしをして第三小学校を建設することに決定したがこのほど整地その他の設計などが出來たので、設計案の承認を得べく十九日午前十時より役場會議室に三小建設委員会を招集、つづいて午後一時より總務、土木の合同委員会を開くことになったこの委員会によって建設にかかる最後的決定案が愼重審議されるつづいて入札の段階に入ることになる

小名浜土木と常磐土建が着工

町出張所と市場派出所

縣案の小名浜町役場住吉出張所新築、並に古港魚市場方面町民殊に船舶關係業者から強い要望のあった地區魚市場前巡査派出所の新築工事入札は十七日午前十一時から公民館日本間に經済委員会が開かれ、次いで午後一時入札が開始されたが結果、魚市場前巡査派出所二五、二五坪は五四万九千円で常磐土建、住吉出張所二十五坪は五二万円で小名浜土木に夫々落札近日中に着工する事になった
両工事とも完成は八月十五日の予定である

漁船保健の通常總会

漁船保険第十五回通常總会は来る二十三日午後一時から平市水産事務所で開く

三万に一息 湯本町人口

湯本町の六月一日現在人口は次の通り
總数＝二万九千九百六十二名（外人を含む）
内譯
男＝一万五千二百六名
女＝一万四千七百五六名
世帶数＝六千百五十八戸

韓國船アルゴル丸 十九日入港

〝既報〟戰後初の外國船として小名浜港に入港する韓國船アルゴル丸は愈々十九日午後（時間不明）全港岸壁に姿を見せる、全船は日本水素の硫安一千トンを積んで二十三日頃出港の予定

湯本一小に華泉の名画 横山さん寄贈

湯本第一小學校では創立記念日に當る十五日記念行事として小運動会を催したが、この日湯本町三函一二五番地石炭業横山長作さんは祝福する意味で大平華泉筆（泉出身）山水額面一幅を講堂掲揚備品として寄贈し場内に一美觀を添えたなお横山さんは施設委員として昨年は学者校協力の範となり、今春は杉苗百本を学校林に寄贈した等教育熱溢れる實踐家として知られる、町教委並びに学校当局ではこの美擧に感激し近く感謝狀を贈ることになった

天氣豫報 19

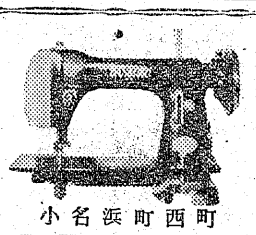
「本日」北寄りの風、曇りで朝晩は小雨も降りますが日中は晴間も多いでしょう
「海上」大体穏やかですが霧の發生で視界が悪くなりますから漁船は注意を要します

魚菜市況 18

「小名浜中央青果市場」
卵一〇、五～一一、二五
菜七〇～九五馬鈴薯二〇～五一玉葱三五～四〇甘藷三二～四〇大根四〇～八五葱（一把）四～一六む（一コ）三、七～五にら（一把）三～三、七胡瓜、八〇（本）三～八さや豆七五～二六〇なた豆四〇〇～四五〇
「小名浜魚市場」
あぢ五六海老一、〇〇〇ひげたら一五小赤五〇ます一、二〇〇わらさ二八〇小鯛三五〇すずき五五〇花鯛五一五平目六〇〇

美顔とパーマは 本田美容室 小名浜町

上映中 21日マデ 頃河の美 ない年あぶ怒 金美館

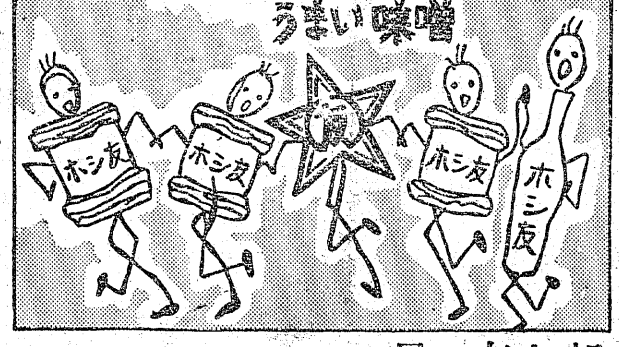
バンコク 月払2,000円ヨリ 御相談に應じます 大和田ミシン

小名浜町西町
ミシン チケット御利用下さい ミシン商会

印刷御用命ハ電291

はき心地の良い…… 月賦販賣に應じます 菅原は 小名浜町古港

医療法人 櫛田病院
院長 櫛田敏也
植田町番所下65ノ1（公民館隣り）
電話（植田）三〇二・三六五番
（保険＝結核豫防醫 生活保護指定醫＝労災保険指定醫）
※植田駅より徒歩にて五分
看護婦五名至急募集!!
※有資格年齢（十八才ヨリ二五才マデ）
※履歴書持參面談

外科 放射線科 松田病院 小名濱駅前通り
結核予防法指定病院 労災保険指定病院 船員保険医 健康保険医

うまい醤油 うまい味噌


ホシ友醤油株式會社 社長 星 友太郎

第861号　昭和28年（1953年）6月19日（金曜日）　磐城日日　（休刊月曜）　一部3円　一ヶ月90円　許可雑誌郵便物

妥結寸前に西丸暴案
労組憤然と撤回す
底まで行くか港灣爭議

昨報…地方労働委員會山野、齋藤、松本の三委員の調停斡旋に依つて急轉解決するかにみえた、小名浜港湾運送会社の退職金を巡る爭議は地労委斡旋案調印間際になつて、突如會社西丸提案が飛び出し、労組謝罪聲明書につまずき遂に物別れとなつた

組合側の斡旋申請によつて駈けつけた三委員は午前十時四十分から會社会議室で双方の意見を聽したのち、午後からは本格的な証據調べに入り全三時半ごろ、委員斡旋案：退職金協約規定などの云云は問題にせず　四十萬円の退職金を支払うこと、が提示され、労組は協議の結果五十二万圓要求なるも斡旋案を受諾することになり、会社も遂に呑むことで解決寸前　斡旋文に調印の土壇場になり會社側から、支給する四十万円は未払い分の給料も含めてである、また去る四月二十八日以來の退職金問題にからまる決議文、聲明書、協力要望の三ビラは事実とまつたく反しており、本社、社長及び親族の名譽をきずつけ、社長個人としても社会的な信用にも多大なる影響を與へるものであるから、同三ビラを即時除去、当會社の指定する十カ所に一ヵ月間謝罪ビラの貼布をするほか地元新聞、磐城日日、いわき民報に三日連續同様文を掲載すること、を條件として申入れたので組合員の憤慨は頂天に達し、組合を賣りまた友誼各團体に對する不名譽極る申入を恥を忍んでまで受けようとする守銭奴ではないとして一蹴、再び徹底的な斗爭に突入注目視されてゐる

調停委員談

吾々はこの問題を圓滿に解決せんと努力、とに四十万円支給することで解決する瀬戸際で、会社申入れになる聲明書で物別れとなつたことは残念である、今後も調停申請があれば何時でも解決に乗り出します

小島の運動部

▽二十二日…植田漁協
▽二十五日…江名漁協
▽七月一日…豊間漁協
▽十日…中村漁協
で講師は全場大島技師が当る

わかめの製品講習会

わかめの干操方法が未熟なため品質の面で他縣製品に太刀打ち出來ず、本縣では豊富な海草資源を有していながら製造方法に何等の改良進歩のあとがなく、これを改良させ品質の向上を圖ることに着目した縣水産試験場製造部では次の日程でわかめ製品製造方法講習会を毎日午後一時から開くことになつている

珍、海の除草
水試が海草増殖に

海草を繁殖させようと縣水産試験場では〝わかめ〟が唯一の産物であるが、ややもすれば他雑藻のため繁殖を阻げられているので、潜水服を着用して下層海面の岩盤に附着するゴミなどを掻きとるものこれの作業に当つているのは水産試験場緒形技師で十六日～二十日まで久の浜海岸、二十二日～二十七日まで四ツ倉海岸、二十九日から七月六日まで沼の内海岸、十一日～十八日まで北泉海岸、二十二日から二十九日まで中柯海岸となつている

花鯛が一千貫
羽が生えて忽ち消化

最近活氣を取りした小名浜港魚市場に花鯛二千貫が水揚げされた、とのように魚が大量水揚げされたのは初めてのことであり浜相場もよく賑わり五百十五円で東京方面に出荷された、これは小敷網で獲れたもので今後も續々揚る見込みである

一位に伊藤由美子さん
辯論大会（湯本）

湯本第一小學校（校長大和田祐之氏）では創立記念行事と教科部（國語）指導の一環として十六日午後一時より講堂に於て五、六年生による校内辯論大会を開き、参加生徒の熱演は聽く人々に大きい感銘を與え非常な成果を收めて意義あらしめた

入賞者及び演題は次の通り

一等「言葉について」六の二伊藤由美子、二等「交通事故防止について」六の三佐藤延道、三等「ジャックと豆の木」（童話）五の四日黒英彦、四等「観光湯本の一少年として」五の二後藤雄二、五等「交通安全について」五の六牛野喬充

最大位置新築中
御用呉服店
小名浜町 電話三〇番

洋食専門
高野昌宗商店
小名浜町

川見只
電源地帯視察記 ①

長瀬啓一

磐梯山は標高一八一九米、山容秀麗なるところから一名会津富士とも呼ばれた、明治廿一年大爆発と共に山頂半面が壞飛して北に蹄鐵狀の火口を殘し、今日附近に噴火湯の神秘と共に幽スイの氣いおのずから漂よい萬コクの涼を湖心に秘めて旅の疲れも忘れ果てる、附近には松原、秋元、小野川湖等大小無數の湖沼が散在往年の磐梯爆發の様相が如何に大規模であつたかが窺ゞ知れる

これらの湖沼と湖中に散在する幾多の島嶼、さらに湖沼を巡ぐる森林溪谷の美しさは、聞近かに仰ぐ磐梯の豪壯な偉容と共に絶妙の美感を醸もし、全國稀な景勝を形成している

サテ旅行コースは事務局に一任、事務局は合理的に日程とコースを研究の上、三泊四日の予定を編成、一行二十二名は五月廿七日午前四時四十分小名浜出發、平から磐越線を利用して一路新緑の山野を縫つた、やがて車窓から磐梯山の雄姿が見え初めると間もなく列車は十時四十七分猪苗代駅着

一行は直ちに觀光バスを利用して山麓から裏磐梯に向つた、車中案内嬢の觀光紹介の名調子にウツとりとする頃佃謡サービスまで登場すれば、議員團にも唱和する者など現われて賑やかなこと、一かくて名所舊跡を窓外にこれらの湖沼を眺めつゝ五色沼にて下車徒歩約五分の後磐梯山大爆發による河川の遮斷で出來上つたという五色沼に到着した、五色沼は山紫水明その名の如く五彩を湛える湖の色は大自然全國の岩盤に附着するゴミ

中の湯、土の湯などの溫泉を湧出させている、会津一帯の山々は奥羽山脈の那須火山系に属していることは周知の通りである

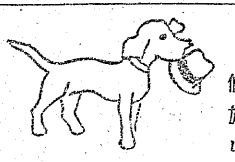
サテ車は猪苗代湖に出で湖岸翁島村に野口英世博士の記念館を見学して世界的醫聖の幼時を偲び、その勞苦と共に人類史上に不滅の功績を殘した偉業をあらためて敬服する次いで翁島鶴高松宮別邸前を経て湖畔長浜に至り風趣豊かな茶亭にて一同晝食を執つたがすでに午後二時を過ぎていた、なお途中安積疏水の取入口を見学したことを附け加わえたい

猪苗代湖は磐梯山の南麓に位する堰塞湖で面積凡そ一〇〇平方粁本邦第五位の湖となつているが、湖面が海拔五一四米の高度にあることで特異性があり、最深部水深一〇〇米余湖岸は比較的変化に乏しいが北方の磐梯山が湖面に逆さ投影し南岸からの眺めは特に勝れている、排水面は西北岸に開かれて日橋川となり東岸は人工による安積疏水となつて何れも灌漑、発電に活用され産業上大きい利益を與えていることは周知の通りである（續）

募集
新聞擴張員
男女年令不問熱意ある者
希望者は御来社下さい
磐城日日新聞社

会社員宅地
須賀町地内廿一坪道路添格安に譲りたし
御希望の向は弊社まで申出下さい

……効速速時速……
音痛に病腸胃
何を食べても完全消化
藥毒を与へ健康をつくる
僕も!! 私も!!
サイトウ藥局
小名浜町松ノ中電六七八

経費をかけずに良い品安く
新緑旅行シーズン
修学旅行にボストン手提鞄
旅行セツト、ハンドバツク
レインコート、絹ビニール
黒別珍婦人靴450円より
男女雨靴長靴洋傘パラソル
婦人セーターギヤバ中高校服
丸首メリヤス女性着新安値
化粧品柳屋メヌマ
ジユジユペピリオ　80円
今評判の『ちどり』フトン綿
洋傘まつり
洋傘一本毎に抽籤に抽一枚一券

皆様の店
平マーケット
小名浜第二小学校前電二七
チケツト歓迎
お買物には先づ平マーケツトを思出して下さい私共は常に貴方の御相談相手として待機しています

月掛て家が建つ
堅実本位の日本建物
建築の福音!!
家が月掛で抽籤も入札も無く早く申込めば早く建つ東北一の月賦建築住宅は基より店舗工場増築改装修理一切大小に拘わらず賃貸地相談にも御利用下さい
御結婚にはゼヒ月払証券御持参で!!
御申込み次第営業案内御送り致します
平市大町三番地（電五八〇）
建設大臣登録（ロ）第九六二号
日本建物K.K.平営業所
所長　大楽弘

募集
外務社員数名
年令30才以上（男女可）
本人履歴書営業所宛
郵送下さい

管内出張所
湯本町三函一五〇
電話三〇三・一三一番
仙台市
小名浜町下町一八
本社
専属工事人・連絡所
小名浜町上町五六
電話六二番
小名浜土木株式会社
一級建築士　坂本二郎